

○講師：針生 淳男氏 (指名)

〈資格の要素〉

- ・ 公認・・・ルールに精通して判定。県大会主審。体力の持続。
- ・ A 級・・・ゲームの掌握、管理。ブロックで主審。判定の一貫性。
- ・ AA 級・・・トップカテゴリーを担当。判定の正確さ。技術にあった判定力。
- ・ 国際・・・語学力。グローバルな意識感覚。

1. 審判を取り組むことにおける理論・考え方

[審判の基本]

- ・ 求められる姿勢と感覚＝信頼される為に必要。→公平性。誠実な立ち居振る舞い。
- ・ 審判が頼る物→ルールブック、マニュアル、体力、相手審判、TO
- ・ ツーメンメカニク→必要な要素 (四原則) ⇒信頼と協力が、より必要!

2. コートにおいて必要となる取り組み

[判定について]

- ・ 判定基準の確立のために→競技特性をより深く考える。ルールの成り立ちを考える。ゲームの流れを感じる。プレイヤー、チームの意図を考える。
- ・ 正しい判定の為にポイント→DFとOFのコンタクトの度合い。シリンダーの権利。手の使い方。プレーの要素。ヴァイオレーション成立の確認。

[“審判らしさ”をコートで見せる]

- ・ 姿勢→走り方。ディレクションの仕方 (腕は曲がっていないか、TOレポートの意識)
- ・ 表現→笛の吹き方 (3S)。マニュアルには忠実に (合図は万国共通)。ブロック or チャージ (その場で明確に指示)。

3. 審判技術向上のために

- ・ 日々の審判において自分の課題を一つ一つ解決しておく
- ・ 細かい事でも、こだわって課題を決める

⇒ 『こだわりと開き直り』を大事にする。まずは自分自身に勝つ。
決してコートでは楽を求めず。自分を信じてコートに立つ!

○講師：東 祐二氏 (指名)

*頭でっかちにはならない事。

知ることのできる情報源がある。色々な事を知っていて、その情報を運用できるか?

⇒OUT PUT できる力＝決断力・判断力

- ・ アドバイスをコートで出すには相当な努力→噛み砕き、自分のものにする。
- ・ 準備－失敗－文句の繰り返し。最初からしようとしても失敗する。

⇒ 1つ1つの現象に対して、きちんと判定する＝正しい判定の積み上げとなる。